

# あぐり情報

営農生活課  
青柳敏正



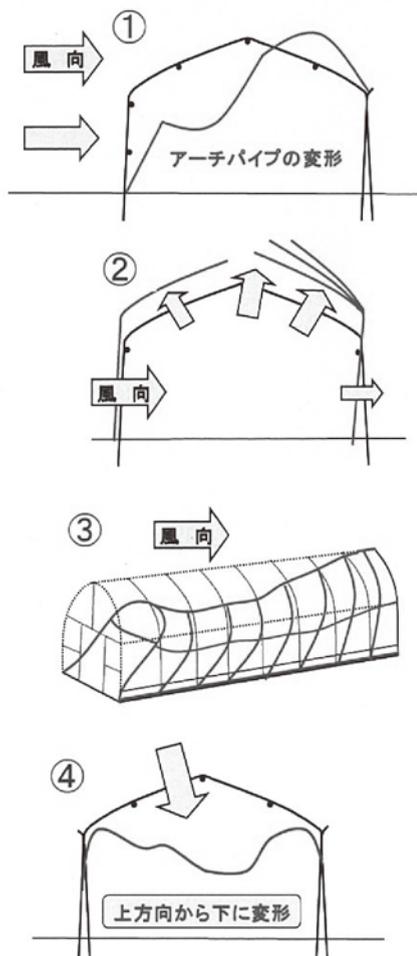
## パイプハウスの台風・ 強風対策について

近年、台風による被害が大きくなってきており、温暖化の影響からも、今後よりいっそう台風の被害が深刻になることが予想されています。昨年は15号、16号によって、露地、施設問わず農作物やハウスの被害が深刻となりました。

パイプハウスを持っている農家も多く、被覆資材が切れてしまっただけや、パイプ本体が変形・倒壊したものもありました。

パイプハウスは比較的簡単に設置できることから、簡易的に作られたハウスの場合、補強部材が抜けていることで、強風に弱くなり

ます。既存のハウスでもある程度補強はできますので、強風による被害の特徴に応じた補強の方法をいくつかご紹介いたします。



### ①風上側の肩部分から屋根の破損に対する補強

#### ●生産者ができる簡易な補強

- ・タイバーによる補強、X型補強
- ・浮き上がり防止のアンカー等の設置

#### ◎施設業者に依頼する補強

- ・アーチ構造骨材の組み込み、防風ネット

### ②下から吹き上がる被害に対する補強

#### ●生産者ができる簡易な補強

- ・妻部への防風ネットの展張
- ・スプリング等を用いた補強

#### ◎施設業者に依頼する補強

- ・施設の基礎部分の強化、防風ネット

### ③妻面が奥行き方向へ倒壊する被害に対する補強

#### ●生産者ができる簡易な補強

- ・筋交いによる補強

#### ◎施設業者に依頼する補強

- ・妻部の骨材追加等の補強対策

### ④真上から屋根が陥没する被害に対する補強

(骨材の強度を強化する必要がある)

#### ◎施設業者に依頼する補強

- ・アーチ構造骨材の組み込み、骨材追加
- ・防風ネットの設置

#### ア. 妻部への防風ネットの展張による補強

妻部に近い1スパン分(2~3m)と側面部の風当たりの強い部分には寒冷紗などを張ります。妻の部分は、特に風を強く受けるため、この部分が破れやすく、寒冷紗等を張ることによって被覆材が破れにくくなります(図-15)。

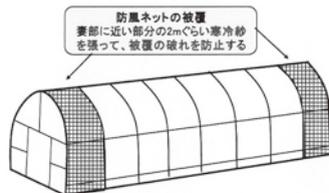


図-15 パイプハウスの妻部への防風ネットによる補強事例

#### ア. タイバーによる補強

図の通り、軒から棟の高さをfとすると、軒からf/4の位置にタイバーを取り付ける補強方法が、有効です(図-10)。

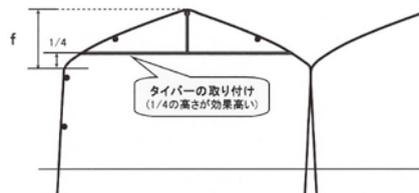


図-10 パイプハウスのタイバーによる肩部の補強方法事例

②アーチ構造骨材の組み込み

既存のハウスの内側にアーチ構造の骨材を組み込み補強します。地形の影響で風を強く受ける施設を重点的に補強します。パイプハウスの骨材が、二重のアーチ構造になることにより、非常に強度が高まります（図-19）。

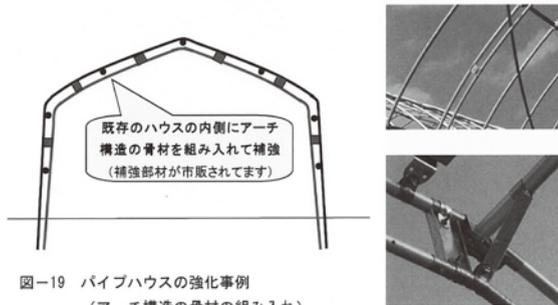


図-19 パイプハウスの強化事例  
(アーチ構造の骨材の組み入れ)

③太めのパイプに交換、アーチパイプの追加

強風による被害を軽減し、施設の強度を高めるためには、アーチパイプを太めのものに交換するのが効果的です。特に、強風を受けやすい裏面に近い部分や地形的に被害を受けやすい位置のハウスは、アーチパイプを追加したり、太めのパイプに交換することにより補強します。また、風を強く受ける条件のハウスでは、奥行き方向の所々にパイプを追加することにより桁間の間隔を決めて、補強する方法も考えられます（図-20）。

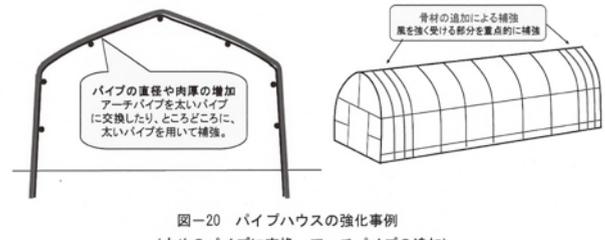


図-20 パイプハウスの強化事例  
(太めのパイプに交換、アーチパイプの追加)

農業施設の台風対策・パイプハウスの建て方動画などを全農HPで公開しています

アピネスアグリインフォトップページ下部の自然災害対策をご参照ください

(JA全農ちば営農資材コーナーからもリンクします)

HP：<[https://www.agri.zennoh.or.jp/N\\_index.aspx](https://www.agri.zennoh.or.jp/N_index.aspx)>

または「アピネスアグリインフォ」で検索

※あぐり情報内の記事は、一部アピネス/アグリインフォより引用

これから、パイプハウスの新設および張替えを検討されている方は、業者の方と相談する上で補強方法を、ハウスの状況により、適切なものを導入することも検討していただきたいと思います。

ジャガイモのそうか病対策

3月に入り、ジャガイモも定植する時期となってきました。

ジャガイモの病害虫でもっとも被害が多く聞かれるのが、そうか病です。そうか病の被害にあったものは、見た目が悪く商品価値が低下してしまいます。ジャガイモの場合、種芋は罹病していないものを購入し、自家増殖したものを使用を控えましょう。(出鳥等の春秋2作は除く)そこで、少しでも発生を抑える為の資材を紹介いたします。

まず、そうか病は、菌種を問わず、pH 5.2以上で発生し、6.5以上で多くなります。そのため石灰質資材を多用すると多発してしまいます。畑のpHはだいたい弱酸性であり、作物の適正pHも6.0〜6.5あたりが多い為、そこに石灰質資材を使用すると発生を助長してしまいます。pHは上げたくないけど、カルシウムの補給はしたい場合に『畑のカルシウム』がオススメです。『ネビジン』がオススメです。

畑のカルシウム	20kg	1,419円
10a 当り	100kg	(目安)
ネビジン粉剤	13kg	1,353円
	10kg	4,323円
10a 当り	60kg	(目安)

2020年1月末現在の価格

